

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 12 日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介		
教育-12	実施事業	吉屋信子記念館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し後世に伝えるとともに、市民の文化教養の向上を図るため。
効果	生涯学習施設として市民等の学習の場として活用する。 吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝える。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

吉屋信子記念館の維持管理を行うとともに、一般公開業務や施設利用業務などを実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考	
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯		
	事業の対象者数	3,937人	事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	2,055	当初予算(千円)	2,941		
	国県支出金		国県支出金			
	地方債		地方債			
	その他	295	176	その他	426	
	一般財源	1,633	2,845	一般財源	2,515	
	人員配置数	1.1	0.3	人員配置数	0.3	
			余計年度任用職員配置数	0.0		
事業経費運営	人件費(千円)	8,629	人件費(千円)	2,408		
	総事業費(千円)	10,684	総事業費(千円)	5,349		
	市民1人当りの経費(円)	61	市民1人当りの経費(円)	30		
	対象者1人当りの経費(円)	2,714	対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない	
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済	<input type="radio"/> 0-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		<input type="radio"/> 協働未実施	<input type="radio"/> Δ-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協働	市民等と協働して事業を展開しているか		協働実施済の場合のパートナー 地域住民
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	見直しの内容
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒		<input type="checkbox"/> その他
			事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	社会教育施設としての貸室や一般公開するため、建物の各所修繕や庭園の管理を計画的に行っていく必要がある。 財源については、歴史的風致維持向上計画に基づき、国の補助金を活用する。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		
総評(評価に対する考え方、根拠等)	生涯学習施設として市民等の学習の場に活用するとともに、吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝えるため、一般公開を継続して実施した。 今後も、近隣住民の記念館に対する理解を得ながら、一般公開等、有効活用について、引き続き検討を進める。		

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・近隣住民の記念館に対する理解を得ながら、一般公開の拡充や有効活用について、引き続き検討を進める。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・一般公開の拡充について、近隣自治会と協議を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・一般公開の拡充については、引き続き近隣自治会と協議する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	利用者数	単位	人	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
来場者の増加を図るため	目標値	6,850.0	6,900.0	6,900.0	6,900.0	6,900.0	7,000.0	
	実績値	5,368.0	4,767.0	4,719.0	3,784.0	3,937.0	3,767.0	
	達成率	78.4%	69.1%	68.4%	54.8%	57.1%	53.8%	

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	・コロナ禍により、集会・学習活動の自粛や休館があったため、利用者数が減少した。								
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--